

セメスター留学便り 11月号

私たちが南開大学に来てから既に三ヶ月がたちました。天津の秋はとても短く、気が付けば木々の葉もすっかり枯れ落ち、寒さがいよいよ厳しくなっています。私たちは中国の生活にもすっかり慣れて、それぞれ勉強に遊びに充実した日々を送っています！

○餃子作り

現地の日本語を勉強している学生とともに、先生の家で餃子を作りながら交流をしました。私たちは慣れない手つきで一生懸命食べきれないほどたくさんの餃子を作りました。餃子をおなかいっぱい食べながら、天津のおすすめの観光地やおいしい料理について教えてもらいました。



○バトミントン大会

11月24日、私たちはインドネシアの留学生とバトミントン大会を行いました。インドネシア人と日本人がペアを組んでのトーナメント方式で試合は進んでいきました。

インドネシアの学生たちはみな明るく陽気で、非常にフレンドリーです。バトミントンの腕前も相当なもので、試合はとても白熱しました。

私たちはインドネシア人とつたない中国語を使って会話しています。また互いの国の言葉を教えあったり、ジェスチャーを使ったりして、非常に有意義な国際交流を行うことができました。





○万里の長城

11月28日、私たちは北京市郊外にある八達嶺長城に行きました。中国人の先生たちも一緒に、バスで朝早くから北京に向かいました。途中、2008年北京オリンピックが行われた北京国家体育場(通称鳥の巣)に立ち寄りしました。

八達嶺長城は二方向に分かれており、みなそれぞれ好きなほうを選んで登って行きました。長城の上はとても寒かったけれど、見渡す景色は美しく雄大で、中国にいるという実感が今更ながら強く湧いてきました。



鳥の巣で中国人の先生たちと

万里の長城の上で



○生活、学習

寒さが本格化してきたため、体調を崩す人が増えてきました。私たちは服を買い足したり、日本からマフラーやコートを送ってもらったりして、何とか寒さをしのいでいます。12月2日のHSK(漢語水平考試)にむけてみな一生懸命勉強しています。留学中にHSK4級以上の試験に合格することが目標です。HSKの試験対策をしつつ、実生活では中国語を使っているいろいろな国の留学生や中国人の学生と交友を深めました。

また、10月に注文したチャイナドレスが届いて女子のテンションは一気に上がりました！12月の閉会式で着るのが今から楽しみです。

○11月を振り返って

11月は、みな中国での生活にもなれ、それぞれ勉強や遊びに集中して取り組むことができた月だと思います。日中関係の問題による外出制限もなくなり、南開大学外へも自由に出かけることができるようになり、私たちは週末になるたびにいろいろなところへ遊びに行きました。

南開大学に来たばかりのころと比べると、私たちの中国語のレベルは格段に上がりました。当初は、食堂でメニューを注文することすら難しく、相手が何を言っているのかもほとんどわからないような状態でしたが、今ではお店の人とおしゃべりしたり、人に道を教えたり、時には値切ったり、臆することなく中国語を話せるようになりました。車の行き交う道路を渡ることも平気になり、朝早くから爆竹が鳴り響くことにも驚かなく

なりました。こんなに中国の生活にも慣れ、中国語も話せるようになってきたところで、残すところもう一か月もないと思うと、日本を懐かしく思う反面、もっと中国にいたいと思う気持ちがつのります。泣いても笑ってもあと一か月足らず、悔いが残らないよう残りの留学生生活を過ごしていきたいと思います。

(中国文学科2年 榊原梓)